GENOVA CMS
plimo(PANDA6)

地図パーツ機能について

地図パーツ[Google Maps]の利用停止についてのご説明。

※　ページへ既に組み込まれている、Google Mapsに関しましては現状で表示に関して影響はございません。

現状の「地図」パーツに関して。

ページ編集画面でご利用いただける「地図」パーツですが内部で利用しているGoogle Maps APIの仕様の変更に伴い、現状のままお使いいただくと一部サイトで地図が表示されないなどの事象が発生する場合がございます。

状況と致しましては、現在「地図」パーツを利用しているサイト 2016/06/22以前に作成されたサイトでは、既存の「地図」パーツでMapを配置してもGoogle MapsのWarningは発生しますがGoogle Mapsの表示に別状問題はありません。

※ 2016/06/23以降に作成されたサイトでは、Google Mapsが正常に表示されなくなっております。

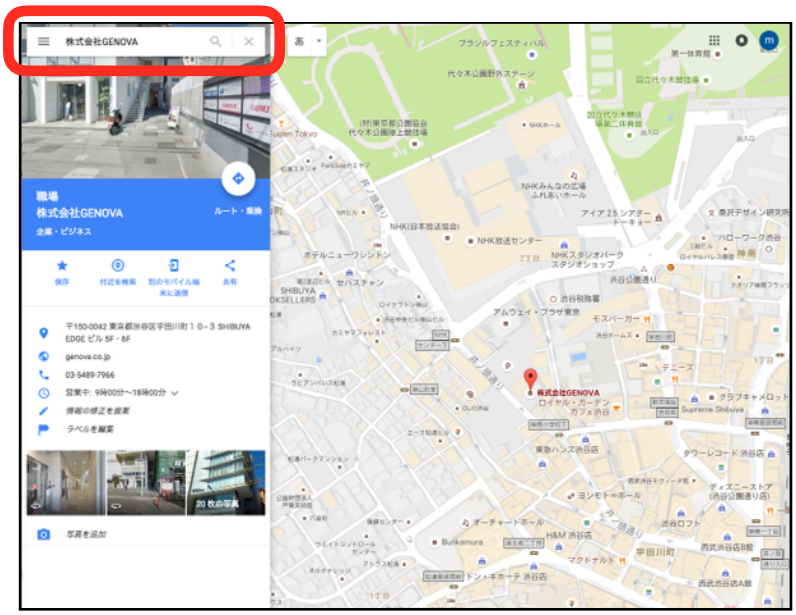
この事象を受けて「地図」パーツの改修も検討も行いましたが、Google Mapsが表示できない事象が発生する場合もあるため、既存のページ編集画面の「地図」パーツの利用を停止させて頂き、今後はiFrameによる地図組み込みをを利用して地図の組み込みを行って頂ますよう、何卒宜しくお願い致します。

「地図」パーツを利用しないでGoogle Mapsを表示する方法に関しましては、次項にて記載しておりますので参照下さい。

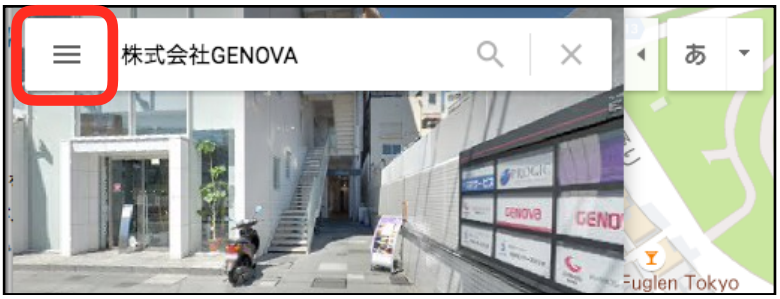
「地図」パーツを利用しないで、IFrameにてGoogle Mapsを組み込む方法。

Google Mapsの埋め込みコードを取得する。

Google Mapsを開き目的の住所・施設を検索します。

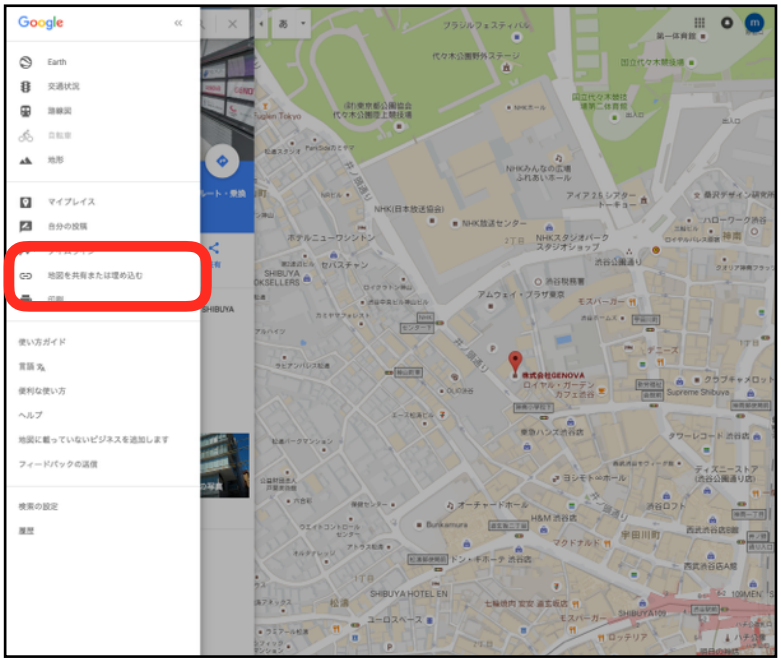


検索後、左上にあるメニューボタンを押下します。



メニューボタンを押下すると各種メニューが表示されます。

この中に、「地図を共有または埋め込む」というメニューがあるのでここを押下します。

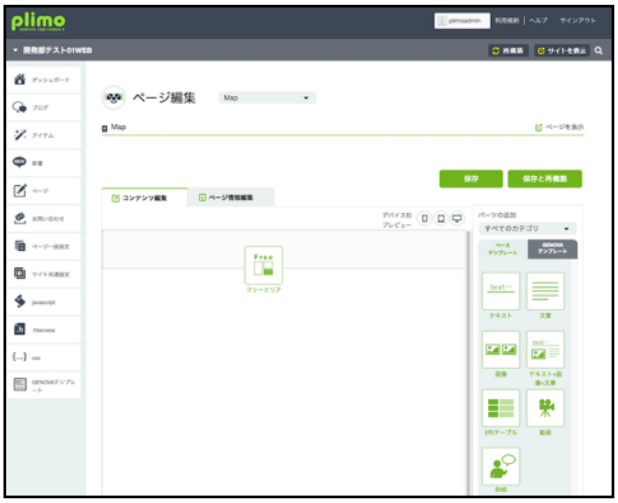


「リンクを共有」・「地図を埋め込む」というタブのあるウィンドウが開きます。「地図を埋め込む」タブを押下すると下図のようにMapが表示されてウィンドウ上部に埋め込みタグが表示されています。「<iframe src〜」から始まるタグを保存します。

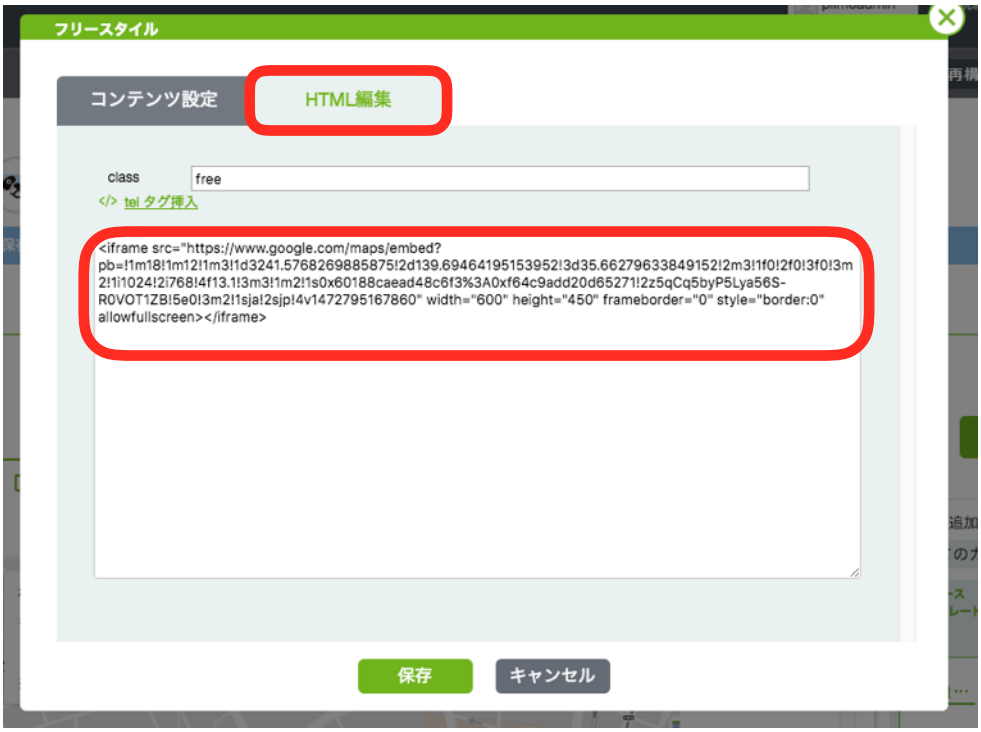
ここまでが、Google Mapsでの作業となります。

PLIMOページ編集画面でGoogle Maps埋め込みコードを利用する。

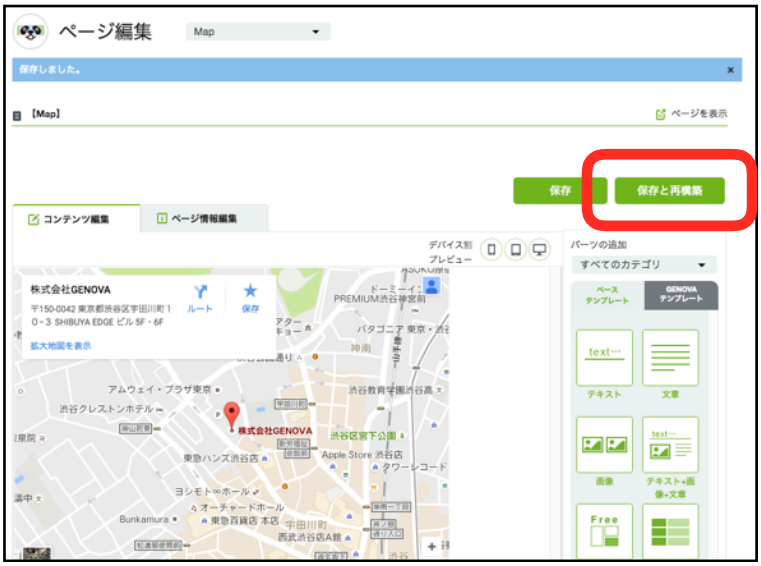
ここからが PLIMOによる作業となります。
「ページ編集画面」を開き「フリーエリア」ボタンを配置します。配置した「フリーエリア」をダブルクリックすることによって編集することが可能となります。



配置した「フリーエリア」をダブルクリックすると下図のダイアログウィンドウが表示されます。ウィンドウ上部にある「HTML編集」タブを押下しHTML編集画面にします。そこに先ほどGoogle Mapsで生成取得したコードを貼り付けます。



上記、貼り付けた後、保存ボタンを押下してページの「保存と再構築」ボタンを押下することによりGoogle Mapsを貼り付けることが可能となります。



※ Google マップ, Google Maps は、Google,Inc.の商標または登録商標となります。

改訂履歴

版数	概要
ver 1.0	新規作成